

2020.7.2

登録チーム / バスケットボール関係者 各位

一般財団法人山形県バスケットボール協会

バスケットボール活動を安心・安全に再開するためのお願い

平素より当協会の諸事業にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

2月下旬より新型コロナウイルス感染症の感染拡大により全ての競技活動や大会の中止を余儀なくされていましたが、去る5月25日、政府による全国緊急事態宣言の解除、山形県においても不要不急に配慮しつつ他県への移動自粛の解除や学校教育活動も7月上旬に入りほぼ再開されるなど、活動再開(練習・交流ゲーム・各種講習会・リーグ戦・大会等)の目処が立つ状況となり、7月下旬頃から交流等も本格化していくことが予想されます。しかし、活動再開は、県内地域・自治体(施設開放制限)・カテゴリー・企業活動等によって異なる状況もありますので、差異や身体的充実度を見計らいながら、感染及びケガ防止に配慮し段階的に進めていく必要がありますのでご留意ください。

また、公益財団法人日本バスケットボール協会では、「JBAバスケットボール活動再開に向けたガイドライン」を策定し、6月8日付で発表いたしました。本ガイドラインは、厚生労働省、文部科学省、スポーツ庁をはじめ、日本スポーツ協会や日本オリンピック委員会等、各種統括団体向けのガイドラインに基づいて策定し、競技者や指導者、また、大会や講習会を運営する主体、施設管理者等に向けたバスケットボール活動再開への道筋や基準を整理し、活動再開時および再開後における感染症拡大防止のためのマニュアルをまとめたものですので、必ずガイドラインを実行し感染拡大防止に努めていただきますようよろしくお願いいたします。

JBAガイドラインは、[こちら](#)

6月下旬から、東京周辺地区を中心として、全国的に再び感染者拡大傾向が見られ、状況の変化も想定されますが、チーム及び個人におかれましては感染防止対策を徹底されるとともに、今後においても自治体(教育委員会)から発出される注意喚起情報に従いながら活動されますようよろしくお願いいたします。

活動再開留意点細目(練習・交流ゲーム・各種講習会・リーグ戦・大会等)

【プレーヤー・スタッフ・関係者】

- ・会場入場時に検温を行うこと(平熱より1℃程度高い場合は帰宅する)
- ・マスクの着用を義務付けること ・準備並びに後片付けは短時間で行うこと
- ・朝自宅にて検温を実施すること(平熱より1℃程度高い場合は自宅待機)
- ・プレーヤーは活動参加に際し必ず同意書を提出すること
- ・身体的疲労度合いに配慮した活動時間とすること ・関係者は最小限とすること
- ・会場で水分補給以外の飲食を控えること ・水分補給は個人ボトルとすること

【会場関係】

- ・入口と出口を工夫すること(3密回避・導線) ・入口及び洗面所(トイレ)に消毒液を配置すること
- ・ゲームの間にアルコール消毒をすること(ベンチ・TO・ボール他)
- ・会場内フロアは1コート50名以内とすること(プレーヤー、スタッフ、TO、審判)

【ゲーム運営】

- ・1チーム1日1試合を目処とすること ・ハーフタイムを15分間に設定することが望ましい(換気)
- ・ゲーム間は20分とすること(換気・次チームのアップ) ・短縮クォーターも想定すること
- ・延長などでゲームが長くなった場合も次ゲームの間は20分とすること
- ・ゲームが終了したら換気を十分に行うこと ・ハイタッチ並びにハグ等は禁止とすること
- ・ゲーム終了後は選手が退場した時点で次チームが入場する(入口と出口を分ける)
- ・ゲーム終了後はすぐに退館すること(TOを除いて)

【更衣】

- ・男子はギャラリーで間隔を空け、女子は時間調整をして更衣室での3密回避に配慮すること

【ウォーミングアップ】

- ・ギャラリーは間隔を空けてストレッチのみ ・前ゲームのハーフタイムでのコートアップは禁止

【その他】

- ・当面、すべての活動が無観客とすること ・ソーシャルディスタンスに注意すること
- ・来場するチームの体調チェックリストを大会本部事務局へ提出する(各日)
- ・関係者も検温を実施する(役員、審判) ・会場内の消毒を心がけること
- ・会場内に注意喚起の掲示をすること ・チーム並びに個人のごみは持ち帰ること
- ・活動中または終了後に感染があった場合、顧問・責任者は、主管事務局に連絡すること

※緊急連絡体制については以下の通りとします。

選手(保護者) → 顧問・責任者 → 主管事務局・カテゴリー理事 → 県協会事務局・専務理事